



今回は、弊社の社員が約3年前に運命の土地と出会い、社長の勧めもあり一大決心のもとに建てたお家をご紹介します。当時は鬱蒼とした林で、土地を見た奥様は「こんな所に住めない！」と叫んだそうです。今日は、現在8才と6才になった子供たちに新しい家の感想を尋ねてみました。

「(冬は)前の家と違ってすごく暖かい！家にきた人もみんなそう言ってるよ！むしろちょっと暑いぐらい」。取材当日(12月3日)、この家の暖房器具は一台の薪ストーブのみ。「(へ)の字の形をした家の中心に位置する薪ストーブが家全体を暖め、30坪の平屋はどこも心地よく、太陽の角度を計算して設置した窓から日が差込み、家の中を暖めていました。

「木は気持ちいいし、障子があると家の中がとてもキレイに見える。畳もそうだけど、なにより家の中が白すぎないのが落ち着く(姉)」。夏も家の中は涼しい！裏が山やから虫が

木のすまい仕様の家 土地と暮らしの可能性

多いけど(笑)「(弟)と、二人ともすっかり今の暮らしを楽しんでいる様子。子供たちの話す内容に、そこまで感じているんだ...と両親も少し驚いていました。

最後にこの土地に猛反対をしていた奥様に家づくりの感想を尋ねると「あの土地がこんなに住み心地のいい土地になるなんて、やっぱり素人には分からないものなんだな。是非着工前の写真と完成後の写真を載せてください。御覧になる皆様にも土地や建物、暮らしの「可能性」を伝えたいです」とのこと。「初めは反対していたことも忘れて、とても気に入っています」と話してくれました。



「設計・施工」
ひょうご木のすまい協議会 正会員
株式会社 坂井建築事務所



森の栄養循環

田や畑では肥料をやらないと作物はよく育ちません。しかし、森の木には普通、肥料をやりませんが、それでも大きく育っています。木も他の植物と同じように養分がないと育ちませんが、ではどこから養分を得ているのでしょうか？

養分にもたくさん種類があります。まずは代表的なリン酸は木から落ちた枯れ葉や枯れ枝が虫や微生物によって分解され、中に含まれていたリン酸が土壌に供給されます。また、枯れていく草や木の根からもリン酸が供給されます。このようにして土に供給されたリン酸が養分として再び木や草の根に吸収されていくのです。

もう一つの代表的な養分の窒素はリン酸同様に落ち葉や落枝が主な供給源ですが、その他にある種の微生物によって空気からも土壌に供給されたり、木の種類によっては根に付く微生物の力を借りて根が直接空気から窒素を取り込んだりもします。その一方で土から大気へ放出されたりもします。

このように、養分が植物と土の間を繰り返し巡る栄養の循環によって、森の木は肥料なしで育つことができるのです。

ひょうご木のすまい協議会

会長 三渡 圭介



ひょうご木のすまい協議会

Vol. 64

January
February
2018

— ひょうご木のすまい協議会からのお知らせ —

WEB住宅展示場開設

ひょうご木のすまい協議会のホームページに、WEB住宅展示場を開設しました。ひょうご木のすまい協議会に加盟している各社のモデルハウスを、いろんな角度から見学できます。ぜひ、ご覧ください。 URL <http://hyogo-kinosumai.com/pano/>



— 兵庫県庁林務課からのお知らせ —

兵庫県の木造住宅ローンのご案内

【融資制度の概要】

融資利率0.8%固定(平成30年3月31日融資実行分迄)

●新築・増改築

融資限度額:2,300万円※1(返済期間25年以内※2)

※1)その他条件により、融資限度額は最大3,200万円までアップします。

※2)県産木材を60%以上使用し、長期優良住宅の場合は返済期間は35年以内に延長可能です。なお、26年目以降の利率は1.8%になります。

●リフォーム

融資限度額:500万円(返済期間10年以内)

詳しくは下記のホームページをご覧ください。

URL https://web.pref.hyogo.lg.jp/nk14/af13_000000017.html

兵庫県 木造住宅ローン